

# With

No. 7

発効日  
2020.06.01

## 帯広協会病院 地域医療連携ニュース



## 2020年度 新体制のご案内

呼吸器内科 / 腫瘍内科 / 精神心療内科

サルコペニア / 骨密度測定器

社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院

〒080-0805 帯広市 東5条南9丁目2番地  
TEL:0155-22-6600 FAX:0155-24-7076

ホームページ  
QR code



# 呼吸器診療を強化！



ながお たかゆき

## 総合診療科(呼吸器) 長尾 喬生 医師

今年の4月より赴任しました。所属は総合診療科ですが、呼吸器疾患をメインに診療しております。呼吸器内科としては、一人体制ですが、週2回(火・金)大学病院からの出張応援もあり、慢性咳嗽・喘息・COPD・肺炎・非結核性抗酸菌症・びまん性肺疾患・悪性疾患など、幅広く診療させて頂いております。

まだ準備は整っておりませんが、今後は気管支鏡検査の導入も検討しており、帯広地区の医療に貢献できればと考えております。呼吸器全般で何かお困り事があれば、お気軽にご相談頂ければ幸いです。ご不便をお掛けすることもあります。宜しくお願い致します。

	月	火	水	木	金	土
午前	長尾	出張医	長尾	休診	出張医	休診
午後	休診					

▷ 毎週火曜日と金曜日の午前中は出張医による診察となります。  
▷ 出張医による診察は「完全予約制」となりますのでご了承ください。

# 十勝の癌治療に新たな希望

すぎやま じゅんこ

## 腫瘍内科 杉山 絢子 医師

「腫瘍内科って何するところ？」とよく聞かれます。腫瘍内科は「化学療法」(抗がん剤や分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害剤など)を専門的に扱い、「がんと診断された人や家族が、その人らしく生きるお手伝いをする科」です。

完治を目指すための手術の前や後の抗がん剤治療を行ったり、現在の医学では完治が難しいがんの場合に、色々な治療を組み合わせ、できるだけ元気に望む生活を続けることができるように治療をしていきます。その人の病気の種類・状態や生活にあわせて、できるだけ副作用を少なく治療が行えるように考えていきます。対応するがんの種類は、胃がん・大腸がん・膵臓がんなどの消化器系のがんや、乳がん、婦人科系のがん、腎臓がんなどの泌尿器系のがん、稀な肉腫や原発不明がんなど、がんと診断がつくものは基本的に何でもです。(小児科のがんと、造血幹細胞移植が必要となる血液のがんは対応外となります)

また、今回は全国でも珍しい「がんサポート外来」、入院中の「がんサポートチーム」を新しく作りました。化学療法だけでなく、がんの治療に伴う副作用対策(嘔気・脱毛や皮膚の障害)や、緩和ケア、気持ちのつらさ、仕事との両立、家族との関係などの相談にものらせていただきます。当院に通院中の方以外の相談にもチームと一緒に考えていきます。どうぞ、お気軽にご相談ください。



	月	火	水	木	金	土
午前	杉山	杉山	休診	杉山	休診	※杉山
午後	※杉山	※杉山	休診	※杉山	休診	休診

▷ 診察は「完全予約制」となりますのでご了承ください。診察場所は外科外来となります。  
▷ 月・火・木の午後、第1.3.5土曜日は「がんサポート外来」となります。  
抗がん剤の副作用による外見上の変化(脱毛など)や仕事を続ける上での相談など、  
化学療法を受けている方で不安や心配事のある方がいらっしゃいましたら是非ご利用ください。

# 心療内科継続します！

やまもと ひろき

## 精神/心療内科 山本 浩貴 医師



令和2年4月から勤務させていただいております。月曜日～金曜日の毎日、午前中は再来や紹介状持参の新患、午後は依頼された入院患者さんの診療を行っています。令和3年末で閉科予定であったため、地域の先生に診療継続をお願いした患者さんもおりますが、「精神科・診療内科」診療継続となりましたので、再び当院を希望される方あるいは新規の方でも、かかりつけの先生から依頼されたものは、迅速に対応したいと考えております。「メンタルヘルスの問題」は軽いものから、危機的な状況に至るものまで幅広く、治療継続に結びつきにくいことも多いですが、ご相談いただくとありがたいです。

当院は精神科病床を有しておらず、入院治療が必要な方は他の医療機関にお願いしております。

当院では、がん相談支援センター主催の「えぞりすカフェ」（毎月第1土曜日の10時から11時半まで）というがん患者サロンが運営されています（最近はコロナの影響でオンライン）。また、がん患者さんのトータルケアを目的とした「がんサポートチーム」の活動も活発化しており、それらにも参加しています。今後ともよろしく願いいたします。

	月	火	水	木	金	土
午前	山本	山本 高橋	山本 高橋	山本 高橋	山本	休診
午後	休診	(高橋)	休診	休診	休診	休診

▷ 再診の方の診療のみとしておりましたが、かかりつけ医からの紹介状持参の新患も受け入れます。



第1回 帯広協会病院

## 病診連携Web講演会

コロナに  
負けない!!

2020年6月24日(水) 19:00-19:30

日本医師会生涯教育講座として認定申請中です。  
(北海道医師会 胸痛 CC42 0.5単位)

ZOOMによる  
Web LIVE



ログインのURLは後日送付します。

講演 「最近増えてる心筋梗塞」

～診断・治療・予防について～

講師：吉田 一郎

帯広協会病院 副院長 心臓リハビリセンター長

後援：帯広市医師会・十勝医師会・北海道医師会

お問い合わせ先 帯広協会病院 地域医療連携室 TEL: 0155-22-6600

# サルコペニア（加齢や病気による筋力低下）の危険性と協会病院の新たな武器

## サルコペニアの危険

サルコペニアは加齢や病気の影響により筋肉が減ってしまう状態を疾患として捉え1900年代からアメリカで推奨された概念です。近年筋肉(骨格筋)の研究が進み、その問題が急激に広まってきました。サルコペニアは様々な病気の発症・増悪リスク、転倒骨折、免疫力低下、抑うつなどに影響があるとされています。何よりも死亡率との関連が強いことから「筋肉減少=死に直結」という極論で表現されます。

## 当院は管内で唯一診断が可能

当院で新たに導入された骨密度測定装置は筋肉量や脂肪量が正確に測定できます。心疾患の方は骨密度低下とサルコペニアの両方のリスクが高まりますので、検査を受けてもらい正確な情報の下でリハビリに役立てています。

## 筋活・貯筋

筋肉が弱ることが様々なリスクに影響するということは、逆をいうと筋肉を育てることが疾病予防や精神安定に繋がることとなります。サルコペニア予防は地域住民の健康寿命を延ばし、医療経済的にも意義があることですので、地域と協力して新たな取り組みができないか模索しております。

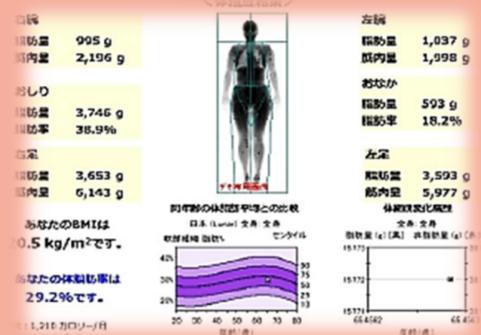
自粛により活動量が低下する時代に突入した今だからこそ、「運動」と「栄養」について考え、行動していくことが重要です。

## 骨密度測定装置

4/1より画像診断科受付横に新しく骨密度測定装置を導入しました。

### 全身の筋肉量を評価可能に！

装置導入により、現在骨粗しょう症ガイドラインで推奨されている腰椎・大腿骨における骨密度評価を行うことができるようになりました。また、全身の筋肉量評価できます。



CT・MRI・RI・骨密度のご依頼予約承ります。  
以下の連絡先にお問い合わせください。

社会福祉法人  
北海道社会事業協会 帯広病院 (通称)帯広協会病院  
〒080-0805 北海道帯広市東5条南9丁目2番地

<地域医療連携ニュース With編集>  
地域医療福祉連携室 竹林佳美  
画像診断科 工藤純一  
リハビリテーション科 塚田貴紀

病院 代表電話  
**0155-22-6600**

地域医療福祉連携室 FAX  
**0155-22-6620**

地域医療福祉連携室 メールアドレス  
[chiren@obihiro-kyokai-hsp.jp](mailto:chiren@obihiro-kyokai-hsp.jp)